

## 2017年度第7回通常理事会議事報告

会長 鷲見八重子

寒くなりましたが、お元気にご活躍のことと存じます。本部事務所パトリシアンションの入り口に小さなクリスマスツリーが立ち、住人の子どもたちが飾り付けた豆電球が点灯しています。

恒例の第1土曜日は、国連ウィメン日本協会主催のシンポジウムを内閣府等と共催したため、第7回通常理事会は翌日曜日に開催しました。以下、議事報告をお届けいたします。

日時：2017年12月3日（日）13：30～17：30 場所：本部事務所会議室

出席：理事12名（欠席：山下いづみ理事、松村和子理事）

監事2名

議事

### 1. 2017年度事業報告・決算報告および2018年度事業計画・予算案の提出について（総務・財務）

例年どおり支部長、委員会委員長には、年明け早々から次年度の事業計画・予算案を検討していただく時期になりました。追って総務・財務担当理事から提出にかんする依頼・書類をお届けします。例年より多少早めの締め切りを予定していますので、ご準備よろしく願いいたします。

なお、本部委員会予算は、昨年度並みの予算を財務担当理事からお示しします。18年度に特別の計画を予定している委員会は、その旨早めに財務理事とご相談ください。

ついで2月には事業報告・決算報告書の提出依頼となります。よろしく願いいたします。

### 2. 新春のつどい関連について（窪田国内奨学担当理事）

1月13日（土）京王プラザホテルにおける新春のつどいのスケジュール案が承認されました。アトラクションを割愛し、奨学生のスピーチが4分（従来より1分プラス）となります。また会食中に現在南極昭和基地で研究中の鈴木裕子さん（2015年度一般奨学生）からのメッセージが生中継で届く予定です。企画書と追加予算申請書が提出され、承認されました。

### 3. 2018年度全国総会について（牧島副会長）

山下いづみ静岡支部長からの案を検討しました。総会午後の部では、静岡らしい企画と本部委員会別の分科会が提案されています。本部と支部の交流が深まり活動が活発になるよう工夫します。

### 4. 会員異動について（牧島副会長）

入会1名（仙台支部）を承認。退会3名、現在会員数802名。800名を割りこまないよう会員拡大委員会を中心に頑張っています。支部のみなさま、お知恵拝借、よろしく願いいたします。

### 5. その他

#### ① 委員会の名称変更について

第1事業を担ってきた教育委員会と女性のエンパワーメント委員会、及び事業1に所属の社会福祉委員会を統合して「調査・研究委員会」とし、本来の目的である調査・研究と政策提言を行うこととする案を提案し、継続審議中です。他団体との連携はこの委員会がこれまで通り担当します。

第6事業の「新規事業委員会」を改め「生涯学習委員会」とし、人材バンク活用による各種企画、ならびに「めげないわたし」講座の趣旨を生かした企画など自由に多彩な事業を展開していきます。提案・実行型の委員会ですから、多くの会員の活発な参画を期待し、承認されました。

② 国内奨学事業70周年記念誌『学ぶよろこび 育つたのしみ』Joy to Learn, Hope to the Futureが出来上がりました。新春のつどいの参加者全員に贈呈されます。70年の奨学事業の振り返りと共に、直近11年の奨学生たちのメッセージが世界各地から寄せられています。希望者には送料500円でお分けする予定です。

以上